

ストーリーをつむぐ
〈世界〉に
ひらかれる



2024-12-07 清里mtg 全体会2


この瞬間を共有したい！

～センス・オブ・ワンダーを伝える言葉

共同設立者・理事

きびはら

黍原 豊

A person wearing a riding helmet and a light-colored shirt is riding a white horse in a grassy field. In the background, there are rolling green hills and mountains under a clear sky. Other people and horses are visible in the foreground and middle ground, suggesting a community activity or event.

“誰もが幸せに暮らせるコミュニティづくり”を
探求し続けるこの場所には

ストーリーをつむぐ
〈世界〉にひらかれる

僕らは〈世界〉を
どのように見ているのか

第 七 話

贈

与

を受け取る

満たされた
世界に



ストーリーは

「つくる」

のではなく

「つむぐ」

「タネ」から「ストーリー」へつむぐ



ストーリー



理論・学問

視座・視点

視野



場・環境



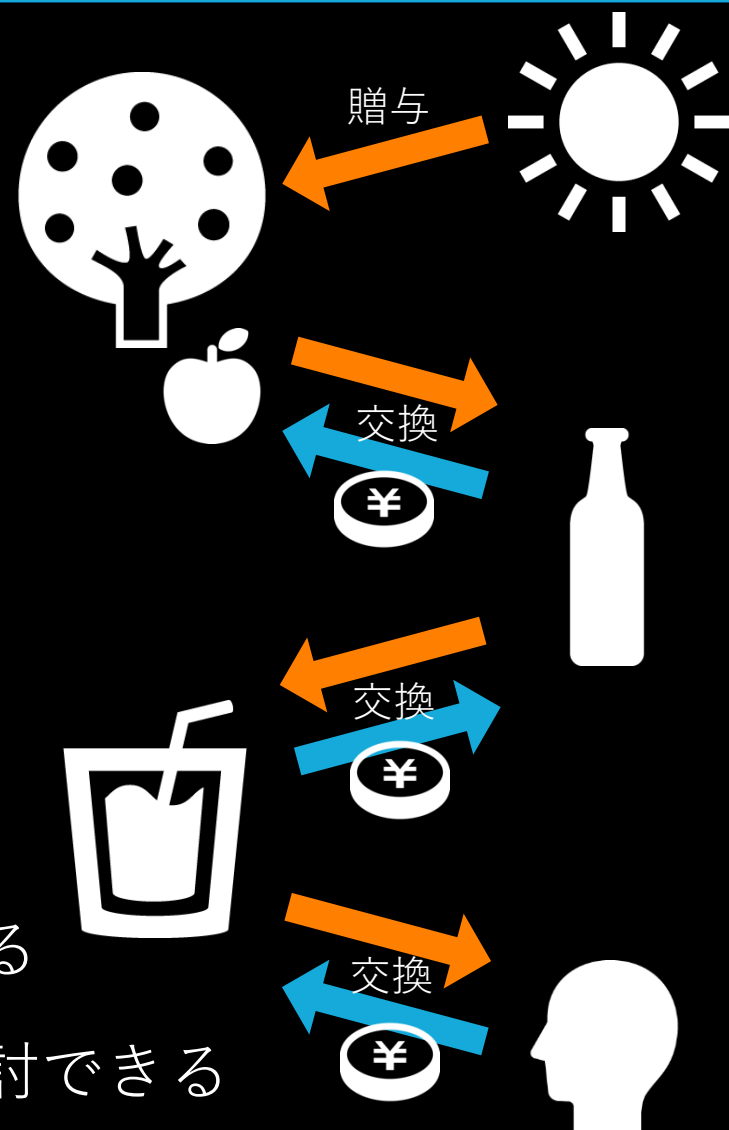
理論、学問的な思考、視点

第壱話のエピソードで登場

1. アタッチメント、愛着形成
2. フィジオクラシー（贈与が基点）
3. トラウマ・インフォームド・ケア
4. 学習の3つの歯車
5. 心の器

具体から抽象へ

1. 原理原則、普遍的なものを捉える
2. 共通言語を持って、ケースを検討できる



主知主義 / 主意主義
フイジオクラシー

個体識別しない

人間中心主義 / 馬中心主義

課題の分離

演劇的ワークショップ
身体原理

意味ある作業

自己一致

予測符号化理論

アドラー心理学

没人格化

野口整体

正の強化、負の弱化

心理学

哲学

宮沢賢治

遅れず、のめらず

身体性

脱力

同じ世界に入る
共同体

文化絶対主義

愛着形成

知覚と知性
認知行動療法

応用行動分析 (ABA)
DoingとBeing

ミラーリング

共同体感覚

非言語コミュニケーション

法と定住化

社会的養育
定住化と法

シェアード・リーダーシップ

〈社会〉と〈世界〉

馬の群れの構造

ティール組織

応答性

特権

社会学

コンテンツによる教育

カテゴリー化

中動態

クオリア (脳科学)

シュタイナーの臨期説

意識・前意識・無意識

メリトクラシー

主体性・自律性と他律性

アタッチメント

心理学

理論

カウンセリング

ロジャーズの

構造によるコミュニケーション

社会意識の変遷 (パターン)

原生自然からの間接化

ミメシス (感染的模倣)

文化人類学

損得勘定

目的論 / 原因論

マインドフルネス

感覚統合

それ/汝 (Hortou)

無条件の肯定的配慮

埋め合わせ理論

そもそも論～ストーリーを紡ぐ前に

- 子どもと共に
どのように
〈在る・居る〉か
- どのような前提で
この世界を捉えるか
- 視座、視点、視野
をどう持つか
→コアを捉える



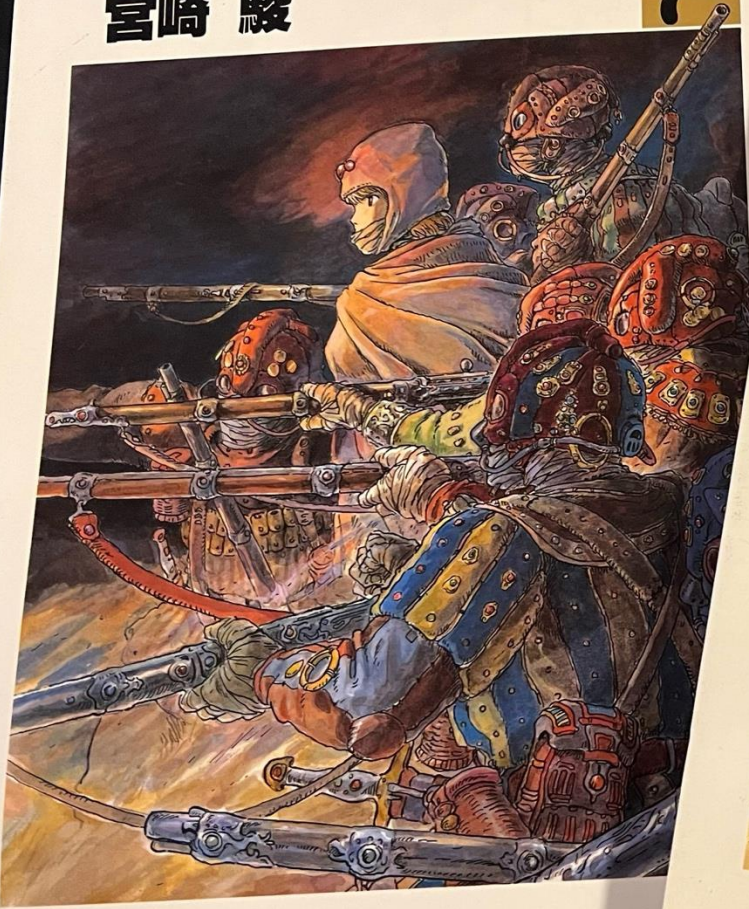
ANIMAGE COMICS ワイド判

定価490円

風の谷のナウシカ

宮崎 駿

7



ANIMAGE COMICS ワイド判

定価 340円

風の谷のナウシカ

宮崎 駿

1



進撃の巨人

attack on titan

1



諫山創

Shounen Magazine Comics

センス・オブ・ワンダーを伝える言葉

〈世界〉にひらかれる

〈社会〉と〈世界〉

〈無意識〉

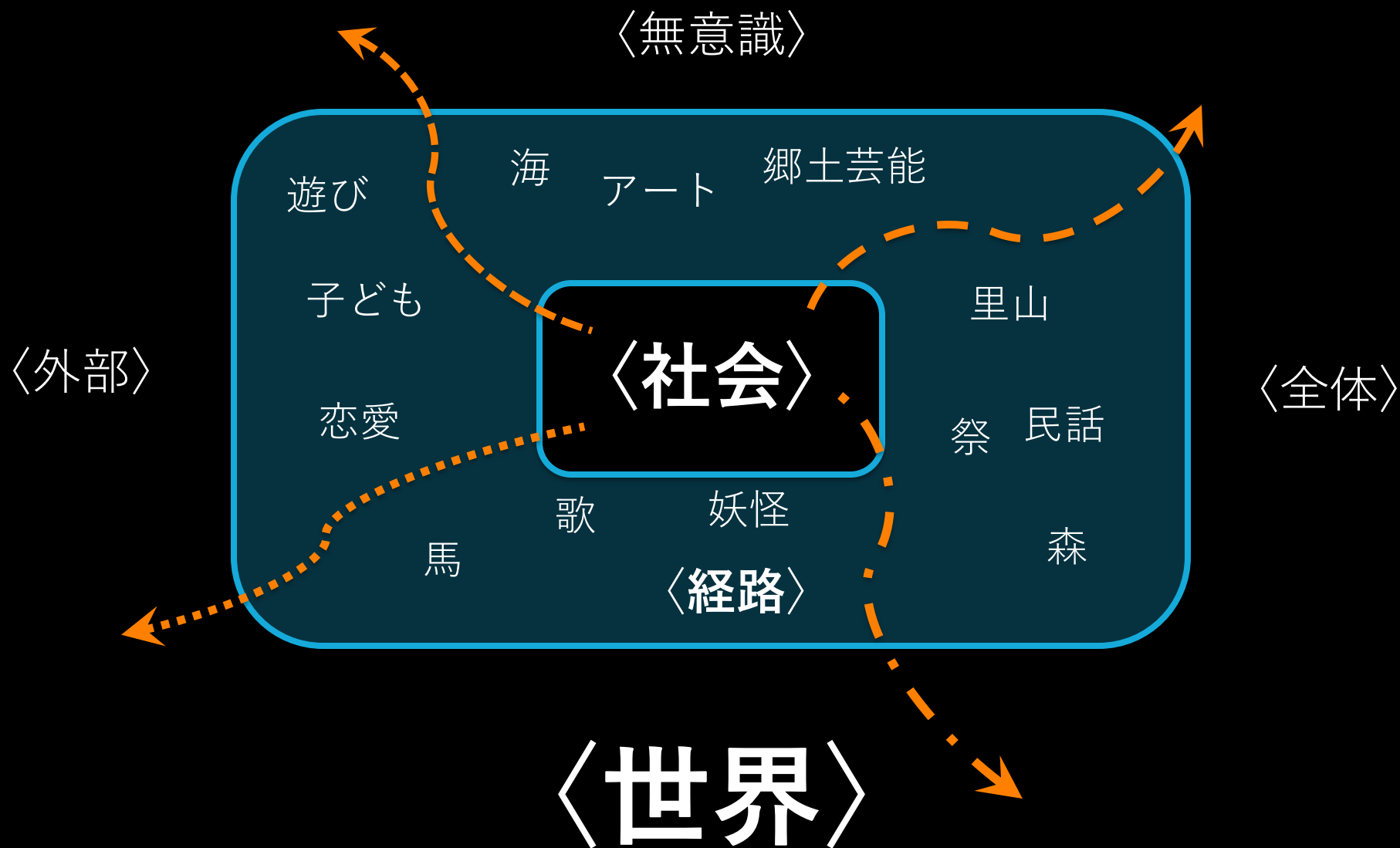
〈外部〉

〈社会〉

〈全体〉

〈世界〉

〈世界〉にひらかれる



清里ミーティング 2024

テーマ 共感されるストーリーのつくりかた



自力や自分の思考の枠を超えた自然の大きな働きを前にすると
人の心は、おのずと「ワンダー」し始める。

レイチェル・カーソン 著／森田真生 訳とそのつづき『センス・オブ・ワンダー』より

未来に繋がる仲間と言葉に出会う

日本の自然体験活動は、この30年で全国的に実践されるようになりました。しかし、誰もが当たり前に参加するものになるためには、さらに多くの人に自然体験活動の意義が伝わる言葉（ストーリー）が必要です。

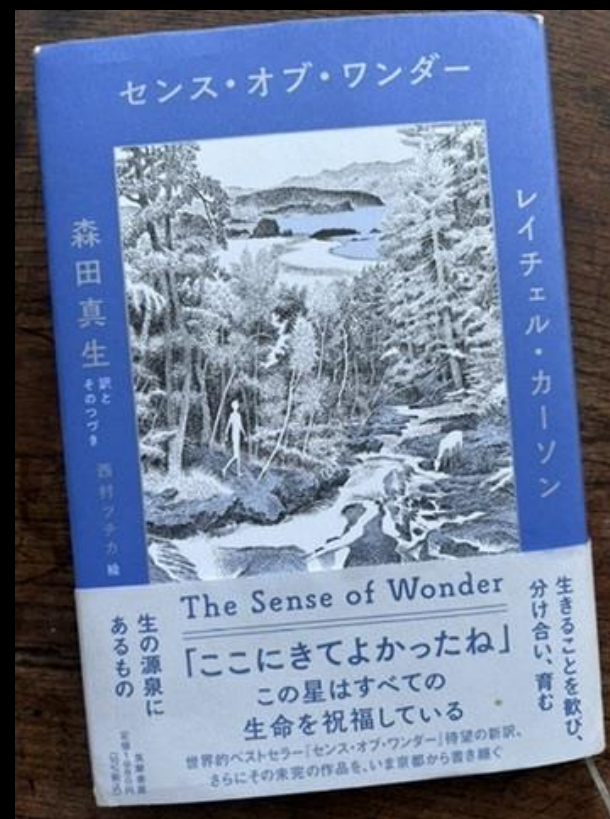
「センス・オブ・ワンダー」を取り戻す

すでに大人になってしまった人間が、忘れかけているセンス・オブ・ワンダーを思い出すことができるとするなら、

生きる喜びと興奮、不思議を一緒に再発見していってくれる、

少なくとも一人の子ども

の助けが必要



出典：センス・オブ・ワンダー
レイチェル・カーソン 著
森田真生 訳とそのつづき

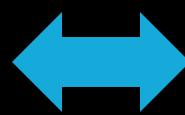
「センス・オブ・ワンダー」って

「知ることは感じることにくらべて半分も重要ではない」

知の弱さは、矛盾を許容できないことである。

【知る】

悲しいのか嬉しいのか
好きなのか嫌いなのか



【感じる】

嬉しくて悲しい
好きで憎い

自力や自分の思考の枠を超えた
自然の大きな働きを前にすると
人の心は、おのずと「ワンダー」し始める。

清里ミーティング 2024

テーマ 共感されるストーリーのつくりかた



自力や自分の思考の枠を超えた自然の大きな働きを前にすると
人の心は、おのずと「ワンダー」し始める。

レイチェル・カーソン 著／森田真生 訳とそのつづき『センス・オブ・ワンダー』より

未来に繋がる仲間と言葉に出会う

日本の自然体験活動は、この30年で全国的に実践されるようになりました。しかし、誰もが当たり前に参加するものになるためには、さらに多くの人に自然体験活動の意義が伝わる言葉（ストーリー）が必要です。

言葉をどう使うか？～可能性と限界

言葉にできない〈世界〉にひらくための言葉

- － 言葉が直接指し示めせるのは世界の一部だけ
- － 体験を思い出すための言葉
- － 言葉を緻密につかう

言葉だけでは手遅れ

- － シュタイナーの臨界期説「力→感情→理性」の順



馬と暮らす、物語をつむぐ

1. 日々の世話の繰り返し
2. 常に変化し続ける
3. 応答的なやりとり
4. 自分と相手との間で起こる
5. 目的はあるが今ここ
6. 自分が変わると、相手も変わる



馬になる

×馬の気持ちに…

最近の取り組み

現場で起こっていることをどう伝えるか
周囲へ染み出していくか

(子どもの暮らし丸ごと良くなってほしい)

1. 語る (対話、声で届ける：聴く連絡帳)
2. 綴る (対話を文章に、随筆・論考)

居着かない・常にひらかれてる構え

≡ ネガティブ・ケイパビリティ

馬との暮らしが生み出すもの

力が湧く子どもの身体を育む

黍原 豊 Kibihara Yutaka



馬は、子どものみならず大人にとっても良き先生となってくれます。僕らを様々な囚われから解き放ち、幸せに生きるための身体を養ってくれる存在です。ただ馬がいれば良いというわけではなくて、命に寄り添う馬の暮らしの型をつくっていくことで、それは自然と起こります。

馬は、僕らに様々な贈り物を無条件に与えてくれます。その贈り物は、僕らの心身を満たし、幸せに生きていく源泉となります。

「あながき」より

対話から文章へ ～現場の空気感を文章に編み込む

馬とは非言語でやり取りします。微細な身体の動き、心の変化でも反応します。

馬と向き合うと、否が応でも長所も短所もこちらの全てが露わになるのがスゴイところ。

格好を付けている間は馬に伝わらないんです。素の自分で向き合う必要があるんだよね。

馬は、敏感にこちらの内面を察して、体の動きで返してきます。



馬の健康維持と人との関係作りのために定期的に行っています。

馬に長いロープを付けて円を描くように運動させます。

馬はみんなの先生。スタッフも短期の研修生も、馬から色々教えてもらっているのだ。

キビ よろしくお願ひします。ここに来て、どんな変化があったのかを聞いていきたいです。三陸駒舎に来て何年？

いくみ 4年8ヶ月になったんです。

キビ これまで働いてきた場所で一番長い？

いくみ そうです、ありがとうございます！

キビ こちらこそ、ありがとうございます！ 4年8ヶ月のなかで一番の学びとか、気づきって何？

いくみ 一番？ 難しい……。でも、馬と出会えたことは大きな変化だったかなと思います。初日から調馬索という運動をやらせていただき、そこでいまままで目を背けていたところを突きつけられる感じがあって、自分と向き合う時間になったんですね。

いままでの自分の生き方を振り返って、ちょっと第三者的な目で自分のことを見て、こういう生き方をしてきたから、今こういうものが出てきているということを感じて。最初、もう自己嫌悪というか「うわー」って感じになって(笑)。

でも、そこで向き合っていけないと、馬との関係も変わっていかないということをやや痛感していたので、ちよつとずつ馬と関わりながら、変化していったと感じています。

キビ 「うわー」っていうところ、もうちよつと聞かせて。

いくみ こつちが伝えているつもりでも、馬が変わってない。ということ、伝わっていないということじゃないですか。それがずっと続いていたときもあって、多分、人間どうしたとごまかしが効いていたのかなっていう気もして。

三陸駒舎の情報



- 馬の暮らし型セラピー勉強会
- 視察、研修
- 馬の里親、ふるさと納税
- ポッドキャスト配信



参考資料リスト

おわりに

- 黍原さんに質問
ストーリーを作っていく際に哲学を具体的にどの
のように使うのでしょうか？
- ずばり、センスオブワンダーを伝える言葉とは
なんですか！？

元々の全体会2のテーマ

「共感を生む活動や想いの伝え方」

「全体会1・2」を通して

感性

×

エビデンス

= 行動